

# 地域におけるコロナウイルス

## 里地区コミ協だより

里地区  
コミュニティ協議会  
事務局 3-2958

### 安全・安心の地域づくり

世界中を巻き込んで猛威を振るう新型コロナウイルス。日ごとに暗いニュースが、テレビやインターネットを通して、私たちの生活のなかにも飛び込んできます。

甌島でも、もしもという時どうしたらいいのかと、心配の声をたくさん、聴きます。

当初は、まったく未知のウイルスなので、症状にしる処方箋にしる情報がなく、専門家ですらお手上げに見えましたが、現在は情報量も増え、ワクチンや検査方法の研究も、大きく進んできました。

候補にあがっている薬剤も増えていますが、DNAワクチン（遺伝子を利用した感染症予防ワクチン）など、特に材料を必要としないものの実用化も進んでいるようです。DNAワクチンは、大量生産が可能、安価で安定している、開発時間も短く、早期実用までが早いという利点があるようですが、発現効率が低いので、効果を高めるための補助剤の工夫が必要とのこと。私たちの生活は、研究者や医療関係者に代表されるさまざまな人々の献身的な行動に支えられています。皆の願いが叶い、一日も早く、収束に向かっていってほしいですね。

日本は、先進国のなかでは、感染者や死者が少なく、なかでも鹿児島県は、十名の感染者を出しただけで、事態が推移しています。

まだまだ長期戦のなか、こうしたさまざま人々の奮闘に對して、日々の中で、自分にできること（飛沫感染を避ける・手洗いなど）をしっかりと実行して暮らしましょう。

### 【肺炎を防ぐ】

基本は風邪予防

ウイルス性肺炎

細菌性肺炎

予防する生活習慣の徹底

インフルエンザや風邪の感染に注意

特に、手洗いの習慣化  
飛沫感染予防のマスク

正しい歯磨きを、心がける  
朝起き掛けの、口内細菌の排除

喉の保湿 粘膜の保湿

息を吸うのは、鼻呼吸で

### 地域での取り組み

コミ協だより臨時号でもお知らせした四月六日の、里港ターミナル広場での、コロナ対策の話し合いの後、民間五団体による要望書が作成されて、市に提出されました。その後、フェリー乗船時の検温が始まり、政府からの全国緊急事態宣言を受けた後は、五月二十日まで不要不急の渡航自粛になり、心配されたゴールデン・ウィークも無事に過ぎました。要望として提出した項目の中に、感染者がでた時の、ガイドライン策定も盛り込んでありましたが、この件に関する窓口が、県の保健所にあることから、市の保健センターでは、その回答をまだ得ていないということです。

今後、緊急事態宣言の解除など変化する状況にそって、行政機関とも協働し、皆さんと共に、地域での対応に当たっていきたくと考えています。薩摩川内市による対応については、決まり次第、支所から、デジタル放送で伝えられる予定です。